(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2006-150021
(P2006-150021A)
(43)公開日　平成18年6月15日(2006.6.15)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A47G 19/12	(2006.01)	A47G	19/12	D	3B001
		A47G	19/12	L	

審査請求 未請求　請求項の数 5　書面　（全 7 頁）

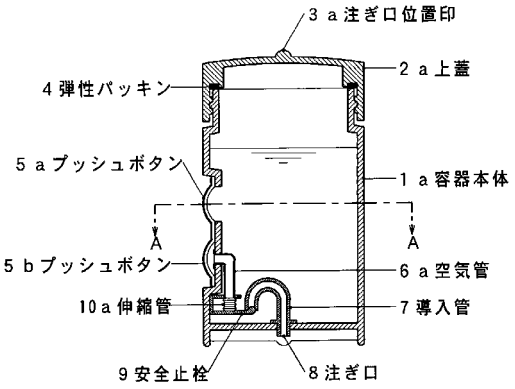
(21)出願番号　特願2004-381634 (P2004-381634)
(22)出願日　平成16年11月30日 (2004.11.30)

(71)出願人　504335895
水口　章悟
長崎県長崎市高平町２２番１号
(72)発明者　水口　章悟
長崎県長崎市高平町２２番１号

Fターム(参考)　3B001 AA24　AA25　BB04　CC25　CC26

(54)【発明の名称】プッシュ式調味料容器

(57)【要約】　（修正有）
【課題】調味料容器を使用する時、指で容器を持ったままの指操作だけで、定量の調味料を注ぎかけ、又振出すことができるもので、誤って容器を倒しても漏れることのない調味料容器を提供する。
【解決手段】気密性のある液体調味料容器本体１ａ壁面の空気・液溜りの押圧部であるプッシュボタン５ａ５ｂを押し加圧すると、空気圧により伸縮管１０ａが伸びて安全止栓９が開く、又、容器内部に圧力が加わり、容器本体１ａ底面部の注ぎ口８から液体調味料が定量注ぎ出る。そのプッシュボタン５ａ５ｂを解放すると注ぎ口８から外気を吸収し、後に安全止栓９も閉じて、誤って容器を倒しても液体調味料が漏れるのを防ぐことができる。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
液体調味料容器本体壁面の空気・液溜りの押圧部を押し加圧すると、空気圧で伸縮管が伸びて栓が開き、一方、容器本体内部に圧力が加わり容器本体底面部の注ぎ口から液体調味料が注ぎ出てる。又、解放すると注ぎ口から外気を吸った後、栓も閉じることを特徴とする液体調味料容器。
【請求項２】
顆粒調味料容器本体壁面の空気溜りの押圧部を押して加圧すると、空気圧で伸縮管が伸びて容器本体底面部下の回転底板が回転することで、容器本体底面部の振出口から顆粒調味料が振出される。又、解放すると線細工バネの復元力により栓が振出口を閉じることを特徴とする顆粒調味料容器。
【請求項３】
回転底板の回転に連動してかくはん回転軸が回転することで顆粒調味料をかくはんして、湿気等による硬化を防ぐことを特徴とする請求項２の顆粒調味料容器。
【請求項４】
原形復帰可能な弾性体である空気・液溜りの押圧部が容器本体壁面の輪郭内に納められた請求項１又は２・３の調味料容器。
【請求項５】
上蓋に、容器本体底面部にある注ぎ口及び振出口の位置が確認できる位置印がついた請求項１又は２・３・４の調味料容器。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は液体調味料及び顆粒調味料を定量ずつ注ぎかける、又は振出すための液体調味料容器と顆粒調味料容器に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
液体調味料を定量ずつ注ぎかける調味料容器は、従来から数々のものが存在していた。例えば、登録実用新案第３０７３６１６号には、上蓋に付けた空気溜りを押すことで、又特開２００４－２６２９２号公報には、押圧部を押してポンプ作動することで、定量の液体調味料を従来どうり容器を傾けて、上蓋及び容器上部から注ぎかける液体調味料容器が示されている。
【０００３】
一方、特開２００２－１７７１８８号公報及び特開２００４－２２９６７３号公報には、容器上部の押しボタン操作による容器底部から定量の液体調味料を注ぎかける液体調味料容器が示されている。
【０００４】
顆粒調味料容器については、実開平５－６８３７５号公報に容器上部の押圧体による容器底部から定量の顆粒調味料を振出す顆粒調味料容器が示されている。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
本発明は、調味料容器を使用する時、指で容器を持ったままの指操作だけで、定量の調味料を注ぎかけ、又振出すことができるもので、誤って容器を倒しても漏れることのない、人にやさしく安全な調味料容器を提供することを目的とするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本発明は、気密性のある液体調味料容器本体の壁面に空気・液溜りの上・下押圧部であるプッシュボタンを設け、それを押し加圧することで、それに連結した空気管から空気圧により伸縮管が伸びて、容器本体内壁に接合した栓が開く、又、押し加圧することで容器内

部に圧力が加わり、容器本体底面部に設けた導入管の注ぎ口から液体調味料が定量注ぎ出る。一方、上・下プッシュボタンを解放することで注ぎ口から外気を吸収し、後に栓も閉じて、誤って容器を倒しても液体調味料が漏れるのを防ぐことができる。

【０００７】

本発明は、気密性のある顆粒調味料容器本体の壁面に空気溜りの押圧部であるプッシュボタンを設け、それを押し加圧することで、それに連結した空気管から空気圧により、容器本体底面部下に設けた回転底板に加工したガイドにそって伸縮管が伸びる。この回転底板が容器本体底面部のかくはん回転軸とベアリングにより回転することで、容器本体底面部の振出口が開き顆粒調味料が定量振出される。一方、プッシュボタンを解放することで、線細工バネの復元力により回転底板が逆回転して振出口が閉じることになる。

【０００８】

前記の回転底板の回転に連動してかくはん回転軸が同時に回転することになり、容器内の顆粒調味料がかくはんされることで、湿気等で硬化することを防ぐことができる。

【０００９】

容器本体壁面の輪郭内に納められる原形復帰可能な弾性体である空気・液溜りのプッシュボタンは、調味料容器を使用する時、その容器を持った指で押すだけで容器を傾けることなく、上蓋に印している注ぎ口・振出口位置印で、容器本体底面部の注ぎ口及び振出口の位置を確認しながら使用できる。又、繰り返し押すことで定量を連続して注ぎかけ、又振出すことができる。　一方、そのプッシュボタンは、容器が倒れて転がっても邪魔にならずに液体調味料が漏れるのを防ぐことができる。

【発明の効果】

【００１０】

本発明により、調味料容器を指で持ったまま、押圧部であるプッシュボタンを押すだけの簡単操作だけで、容器を傾けることなく定量の調味料を容器底面部から注ぎかけ、又振出すことができ、連続しての使用もできる。又、調理用調味料容器として、プッシュボタンの大きさや数によって、小さじ用や大さじ用の分量等、構成を変えるこができる。一方、誤って容器を倒しても漏れることのない、人にやさしく安全で、デザインもシンプルなものになった。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１１】

本発明の液体調味料容器は、容器本体と着脱可能な弾性パッキン付上蓋とが螺合して密閉される。この容器を使用する時、容器本体壁面の空気溜りの下部プッシュボタンを指で押し加圧すと、それに連結した伸縮管が空気圧により伸びて安全止栓が開く。又、もう一方の空気・液溜りの上部プッシュボタンを押し加圧することで容器内部に圧力が加わり、容器本体底面部の注ぎ口から液体調味料が定量注ぎ出る。一方、上・下プッシュボタンを解放することで注ぎ口から外気を吸収し、後に安全止栓も閉じて、誤って容器を倒しても液体調味料が漏れるのを防ぐことができる。

【００１２】

本発明の顆粒調味料容器は、容器本体と着脱可能な弾性パッキン付上蓋とが螺合して密閉される。この容器を使用する時、容器本体壁面の空気溜りのプッシュボタンを指で押し加圧すと、それに連結した伸縮管が空気圧により伸びて、容器本体底面部下の回転底板が回転することで、その回転底板の底板栓から振出口用有孔に移動して、容器本体底面部の振出口から顆粒調味料が定量振出される。一方、プッシュボタンを解放することで、線細工バネの復元力により回転底板が逆回転して振出口が閉じることになる。

【００１３】

本発明の液体及び顆粒調味料容器は、空気・液溜りのプッシュボタンを繰り返し押すことで、液体及び顆粒調味料を定量連続して注ぎかけ、又振出すことができる。

【実施例１】

【００１４】

図１～４は、液体調味料容器の断面図・平面図・正面図であり、容器本体１ａと弾性パッ

キン４付上蓋２ａとが螺合して密閉される容器で、この上蓋２ａの上面部に、容器本体１ａ底面部の注ぎ口８の位置を示す注ぎ口位置印３ａを設ける。但し、この注ぎ口位置印３ａの形状は、凹・凸どちらでもよく、又、液体調味料容器の形状や大きさは任意である。

【００１５】

本体容器１ａの壁面を凹形状に形成し、そこに円形に穴加工した部分に、原形復帰可能な弾性体で形成された空気・液溜りのプッシュボタン５ａ５ｂを結合して加圧装置を構成する。このプッシュボタン５ｂを指で押し加圧すことで、空気圧により伸縮管１０ａが伸びて安全止栓９を押し下げ開く。一方、プッシュボタン５ａも同様に加圧することで、容器本体１ａの内部に圧力がかかり容器本体１ａ底面部の注ぎ口８より液体調味料が定量注ぎでる。

【００１６】

前記のプッシュボタン５ａ５ｂを解放することで、注ぎ口８から導入管７を通って外気を吸収し、後に安全止栓９も閉じる構造である。

【００１７】

容器本体１ａの壁面にあけられた円形の穴に、空気管６ａを結合してプッシュボタン５ｂと一体化し、この空気管６ａと原形復帰可能な伸縮管１０ａを連結することで作動装置を構成する。又、この作動装置と容器本体１ａの内壁に接合した安全止栓９を連結することで、空気圧によって安全止栓９を押し下げ開く構成である。

【００１８】

導入管７は、Ｕ字形に加工成形して、容器本体１ａ底面部に穴加工した部分に接合固定して、一方を安全止栓９の栓口とし、もう一方を底面部の穴加工部より外部に出して注ぎ口８とする。

【実施例２】

【００１９】

図５～９は、顆粒調味料容器の平面図・正面図・断面図であり、容器本体１ｂと弾性パッキン４付上蓋２ｂとが螺合して密閉される容器で、この上蓋２ｂの上面部に、容器本体１ｂ底面部の振出口１２の位置を示す振出口位置印３ｂを設ける。但し、この振出口位置印３ｂの形状は、凹・凸どちらでもよく、又、顆粒調味料容器の形状や大きさは任意である。

【００２０】

本体容器１ｂの壁面を凹形状に形成し、そこに円形に穴加工した部分に、原形復帰可能な弾性体で形成された空気液溜りのプッシュボタン５ｃを結合して加圧装置を構成する。このプッシュボタン５ｃを指で押し加圧すことで、空気圧により伸縮管１０ｂが伸びて、容器本体１ｂ底面部下の回転底板１３が回転することで、その回転底板１３に加工された底板栓１４と振出口用有孔１６が回転移動して、容器本体１ｂ底面部の振出口１２より顆粒調味料が定量振出される。

【００２１】

前記のプッシュボタン５ｃを解放することで、回転底板１３が線細工バネ１７の復元力により逆回転して、底板栓１４が塞ぐことで振出口１２が閉じる構造である。

【００２２】

容器本体１ｂの壁面にあけられた円形の穴に、空気管６ｂを結合してプッシュボタン５ｃと一体化し、この空気管６ｂと伸縮管１０ｂを連結することで作動装置を構成する。又、この作動装置が容器本体１ｂ底面部下の回転底板１３を空気圧で回転移動させる構成である。

【００２３】

前記の回転底板１３は、容器本体１ｂ底面部に穴加工して貫通したかくはん回転軸１１とビスで結合一体化し、又、容器本体１ｂ下部内壁と回転底板１３立ち上げ面との間に、回転を滑らかにするためのベアリング１５とで回転体を構成する。一方、回転底板１３を必要な所で止めるために、容器本体１ｂ底面裏の二ヶ所にストッパー１９を加工する。

【００２４】

この回転底板１３には、伸縮管１０ｂが空気圧で正確に伸びて回転作動できるために、回転底板１３にガイド１８を加工する。又、振出口１２から顆粒調味料を振出したり、塞いで栓をするための底板栓１４と、振出口用有孔１６を加工する。

【００２５】

前記のかくはん回転軸１１は、回転底板１３との一体化により同時に回転しすることになり、かくはん棒の回転で顆粒調味料がかくはんされることで湿気等で硬化することを防ぐことになる。

【００２６】

本発明の液体及び顆粒調味料容器は、調理用のためにプッシュボタン５ａ５ｃの大きさや数によって、小さじ用や大さじ用の分量等、構成を変えるこができる。

【００２７】

本発明の液体及び顆粒調味料容器の材料は、プラスチック等の通常のものでよい。但し、容器本体１ａ１ｂは、ガラスや金属系及びセラミックや陶器でもよく、又、線加工バネ１７は金属加工でよい。一方、プッシュボタン５ａ５ｂ５ｃの形体は、円弧形だけでなく楕円形や円柱形等でもよく、容器本体１ａ１ｂ壁面の輪郭内に納められる形体であればよい。

【産業上の利用可能性】

【００２８】

本発明の液体及び顆粒調味料容器は、工業的に量産することが可能であるため、産業上の利用可能性を有する。

【図面の簡単な説明】

【００２９】

【図１】本発明で液体調味料容器の断面図である。
【図２】本発明で液体調味料容器のＡ－Ａ線に沿った断面図である。
【図３】本発明で液体調味料容器の平面図である。
【図４】本発明で液体調味料容器の正面図である。
【図５】本発明で顆粒調味料容器の平面図である。
【図６】本発明で顆粒調味料容器の正面図である。
【図７】本発明で顆粒調味料容器の断面図である。
【図８】本発明で顆粒調味料容器のＢ－Ｂ線に沿った断面図である。
【図９】本発明で顆粒調味料容器底面部下の回転底板の平面図である。

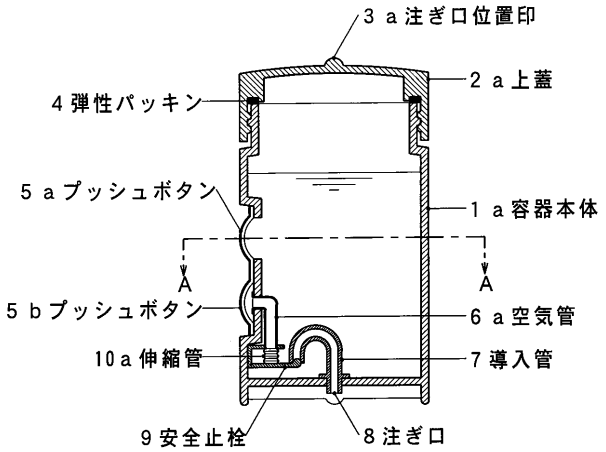
【符号の説明】

【００３０】

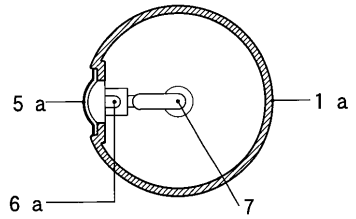
１ａ　液体調味料容器の容器本体
１ｂ　顆粒調味料容器の容器本体
２ａ　液体調味料容器の上蓋
２ｂ　顆粒調味料容器の上蓋
３ａ　液体調味料容器の注ぎ口位置印
３ｂ　顆粒調味料容器の振出口位置印
４　弾性パッキン
５ａ　液体調味料容器のプッシュボタン（上部）
５ｂ　液体調味料容器のプッシュボタン（下部）
５ｃ　顆粒調味料容器のプッシュボタン
６ａ　液体調味料容器の空気管
６ｂ　顆粒調味料容器の空気管
７　液体調味料容器の導入管
８　液体調味料容器の注ぎ口
９　液体調味料容器の安全止栓
１０ａ　液体調味料容器の伸縮管
１０ｂ　顆粒調味料容器の伸縮管

１１　　顆粒調味料容器のかくはん回転軸
１２　　顆粒調味料容器の振出口
１３　　顆粒調味料容器の回転底板
１４　　顆粒調味料容器の底板栓
１５　　顆粒調味料容器のベアリング
１６　　顆粒調味料容器の振出口用有孔
１７　　顆粒調味料容器の線細工バネ
１８　　顆粒調味料容器のガイド
１９　　顆粒調味料容器のストッパー

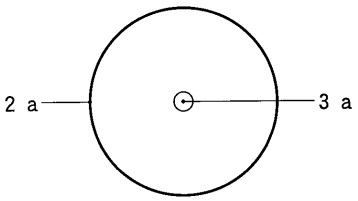
【図１】



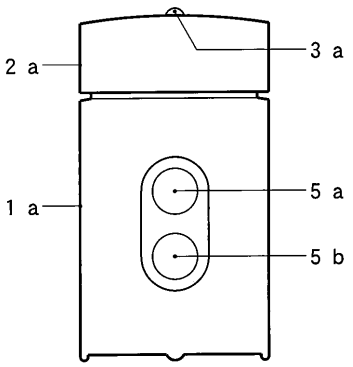
【図２】



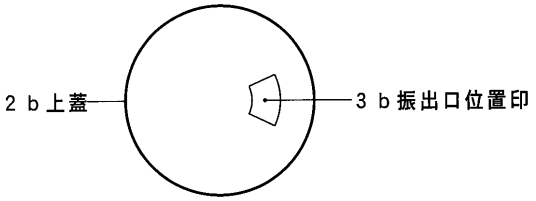
【図３】



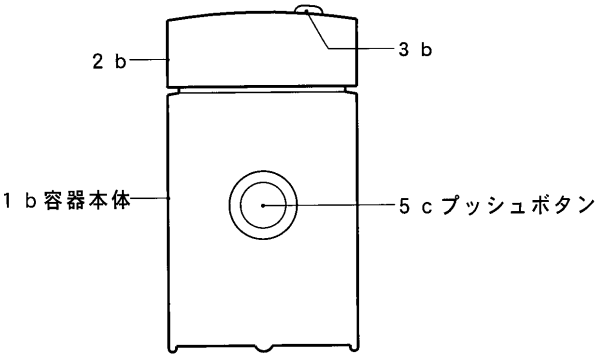
【図４】



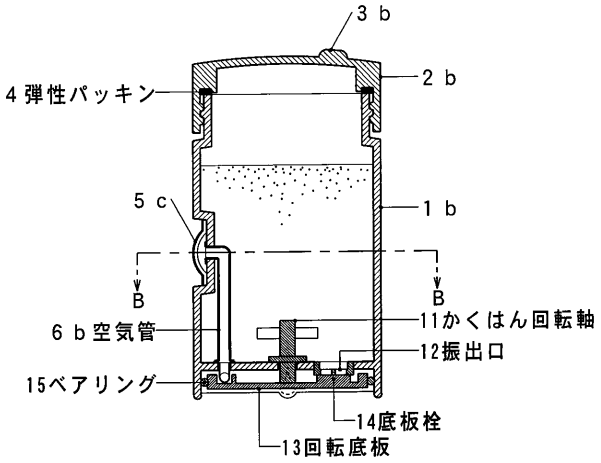
【図５】



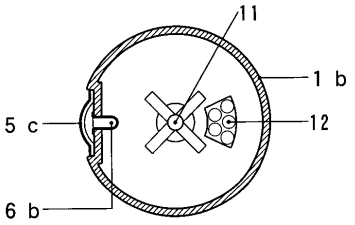
【図６】


2 b
3 b
1 b容器本体
5 cプッシュボタン

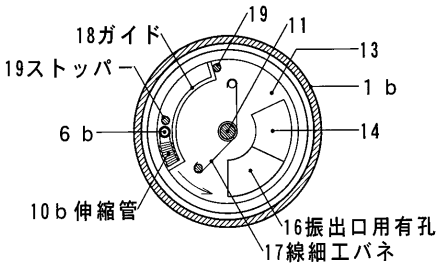
【図７】


3 b
2 b
4 弾性パッキン
5 c
1 b
B
B
6 b空気管
11かくはん回転軸
12振出口
15ベアリング
14底板栓
13回転底板

【図８】


11
1 b
5 c
12
6 b

【図９】


19
18ガイド
11
13
19ストッパー
1 b
6 b
14
10b伸縮管
16振出口用有孔
17線細工バネ